

平成22年度 第1回

杉並区インターネット区民アンケート  
集計結果報告書

「自転車の安全ルールの理解」について



平成22年6月実施

杉並区政策経営部区長室区政相談課

## 調査の概要

- 1 調査の目的 近年、自転車に関連した交通事故が増える傾向にあります。杉並区でも昨年度、自転車による死亡事故が2件発生しています。これは、区内の交通死亡事故の半数にあたります。
- 自転車は、手軽で扱いやすい移動手段であり、環境保全や健康の増進にも有用性がもてる便利な乗り物です。しかし、簡便さゆえの自由奔放な乗り方が、思わぬ事故につながってしまいます。簡単に扱える自転車ですが、法では車両の仲間と分類され、交通ルールを守った正しい乗り方を守る必要があります。
- そこで、杉並区では自転車の安全ルールの理解にかかるアンケートを行い、その結果を自転車安全利用の広報活動に活用させていただきたいと考えています。

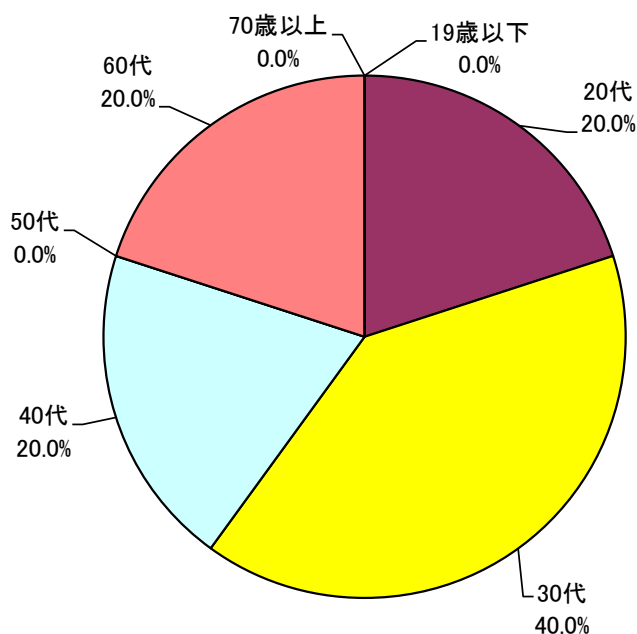
2 調査の内容 自転車の安全ルールの理解について

3 調査期間 平成22年6月28日～7月12日

4 回答者数 5人

5 回答者構成 単位:人

	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
男性	0	0	2	0	0	1		3
女性	0	1	0	1	0	0		2
合計	0	1	2	1	0	1		5



## 8 集計・分析にあたって

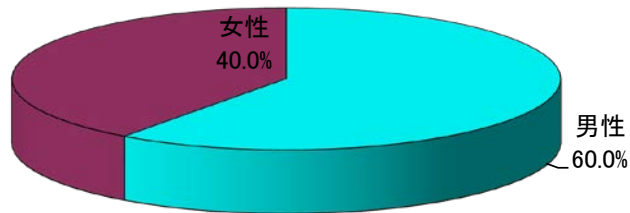
- (1) 各項の初めにあるNは、回答者数を表している。
- (2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

◎ 以下の質問について、あてはまる番号に○をつけるか、必要な記入をお願いします。

問1. あなたの性別を選んでください。(○は1つ)

N= 5

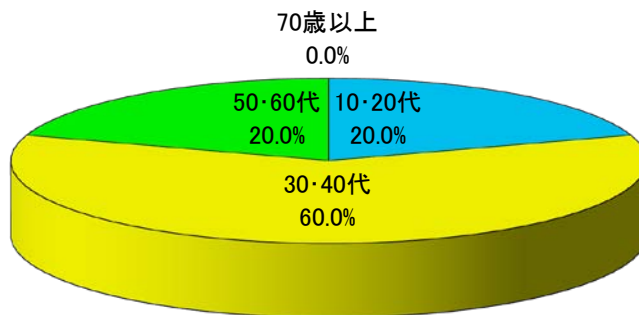
		全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
1	男性	3	60.0%	0	2	1	0
2	女性	2	40.0%	1	1	0	0



問2. あなたの年齢について、あてはまるものを一つだけ選んでください。(○は1つ)

N= 5

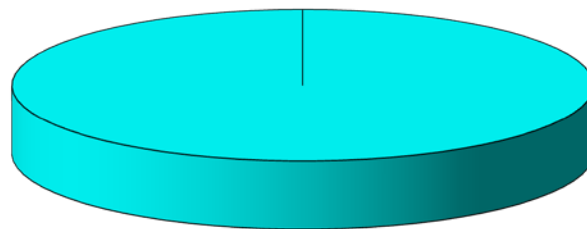
		全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
1	男性	3	60.0%	0	2	1	0
2	女性	2	40.0%	1	1	0	0
	計	5	100%	1	3	1	0



問3. あなたはどちらにお住まいですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(○は1つ)

N = 5

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 杉並区内	5	100.0%	男性	3	0	2	1	0
			女性	2	1	1	0	0
② 東京都内(22区)	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
③ 東京都内(市町村)	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
④ 東京都外	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				

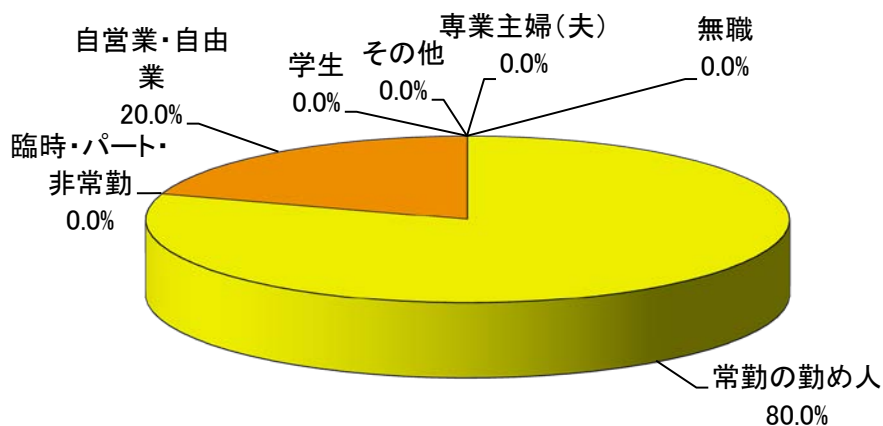


杉並区内  
100.0%

問4. あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

N = 5

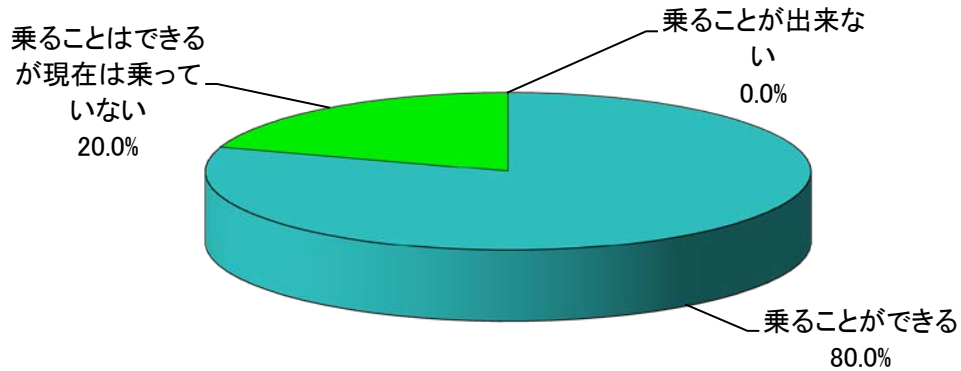
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 常勤の勤め人	4	80.0%	男性	2		2		
			女性	2	1	1		
② 臨時・パート・非常勤	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
③ 自営業・自由業	1	20.0%	男性	1			1	
			女性	0				
④ 専業主婦(夫)	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ 学 生	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑥ そ の 他	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑦ 無 職	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				



問5. あなたは、自転車に乗る(運転する)ことができますか。

N = 5

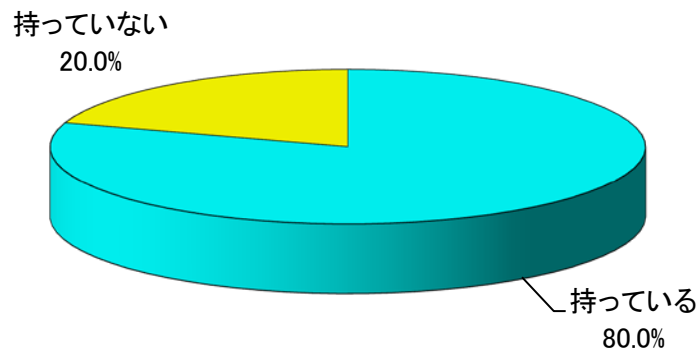
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 乗ることができる		4	80.0%	男性	2		2		
				女性	2	1	1		
② 乗ることはできるが現在は乗っていない		1	20.0%	男性	1			1	
				女性	0				
③ 乗ることが出来ない		0	0.0%	男性	0				
				女性	0				



問6. あなたは現在、自転車をお持ちですか。(○はひとつ)

N = 5

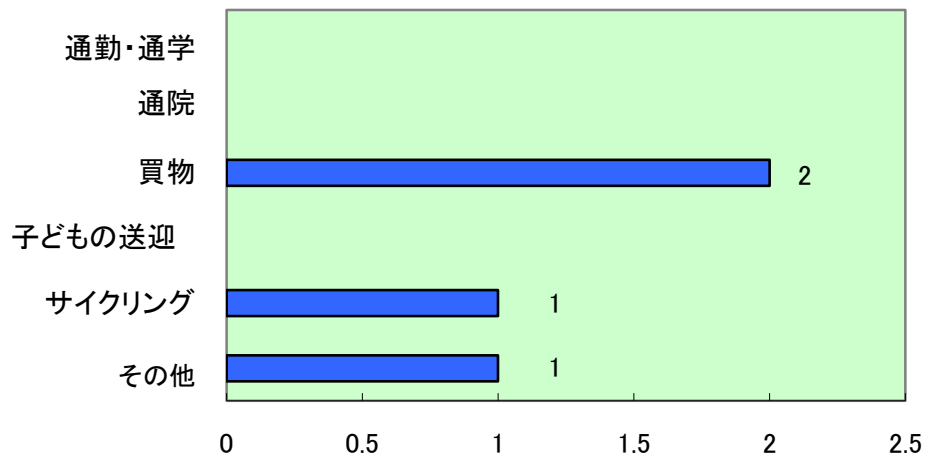
		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 持っている		4	80.0%	男性	2		2		
				女性	2	1	1		
② 持っていない		1	20.0%	男性	1			1	
				女性	0				



問7 (問6で1. 持っていると回答した方について) 自転車利用状況についてお聞きします。(〇はひとつ)  
 自転車を利用するのはどんな場合ですか。利用する頻度の高いものをひとつだけ選んでください。

N = 4

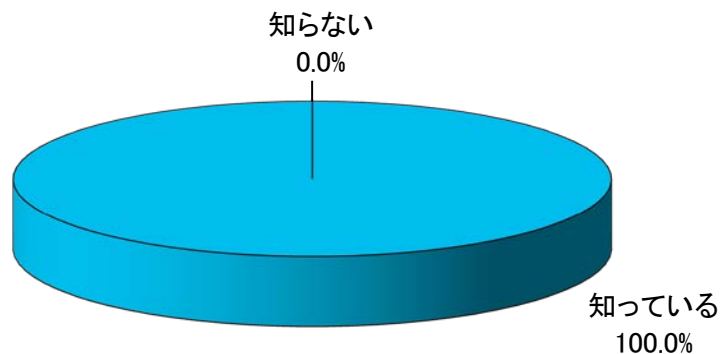
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 通勤・通学	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
② 通院	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
③ 買物	2	50.0%	男性	0				
			女性	2	1	1		
④ 子どもの送迎	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ サイクリング	1	25.0%	男性	1			1	
			女性	0				
⑥ その他	1	25.0%	男性	1			1	
			女性	0				



問8 道路には、車道と歩道がきちんと分けられたところがあります。この際、自転車が走行すべき場所は、原則として「車道」とされていることをご存知ですか。(〇は1つ)  
 (※ 次の場合が歩道を走行できる目安となります。「①13才未満、70歳以上、身体障害者が運転する場合」、「②車道を走行することが危険だと思われた場合」、「③自転車走行可能な標識のある歩道」)

N = 5

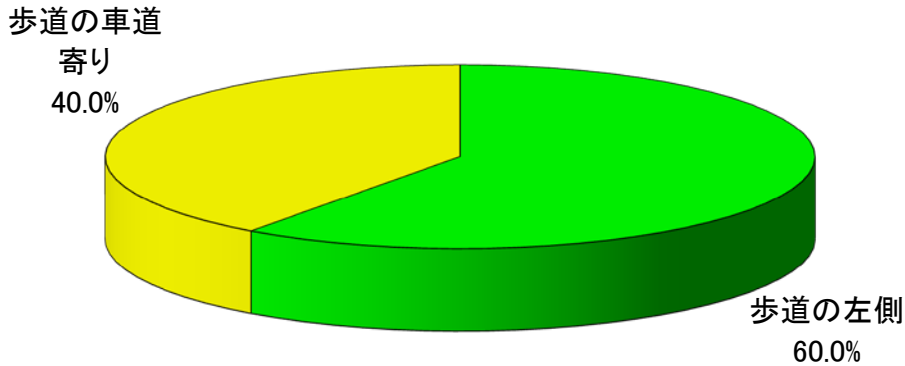
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 知っている	5	100.0%	男性	3		2	1	
			女性	2	1	1		
② 知らない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				



問9 自転車歩道を走行する場合、いずれの場所を走行するのが良いと思いますか。(○は1つ)

N = 5

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	歩道の左側	3	60.0%	男性	1				1
				女性	2	1	1		
②	歩道の車道寄り	2	40.0%	男性	2		2		
				女性	0				

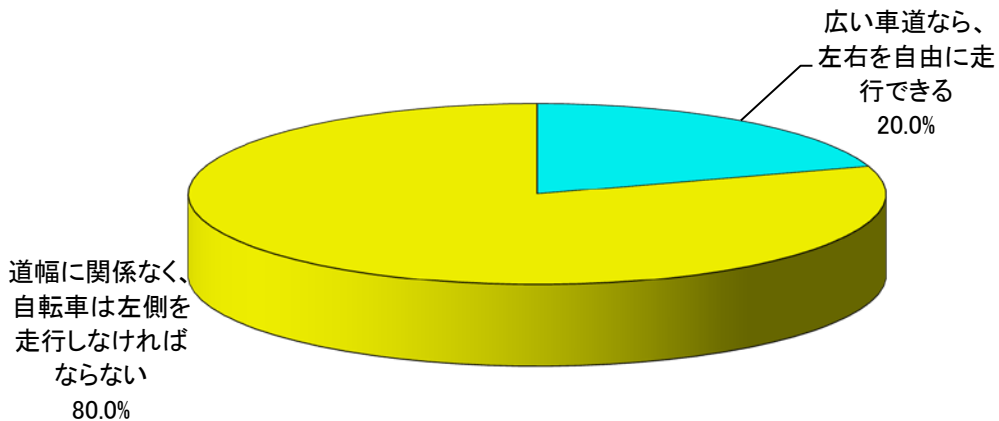


注) 正しくは「歩道の車道寄り」を走ります。また、歩道は歩行者優先なので、走行する場合は歩行者に気を配り、すぐ停止できるよう徐行する必要があります。

問10 車道を走行する場合、自転車は左側を走らなければいけません、広い道路の場合、あなたはどのように走行するのが正しいと思いますか。(○は1つ)

N = 5

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	広い車道なら、左右を自由に走行できる	1	20.0%	男性	1				1
				女性	0				
②	道幅に関係なく、自転車は左側を走行しなければならない	4	80.0%	男性	2		2		
				女性	2	1	1		

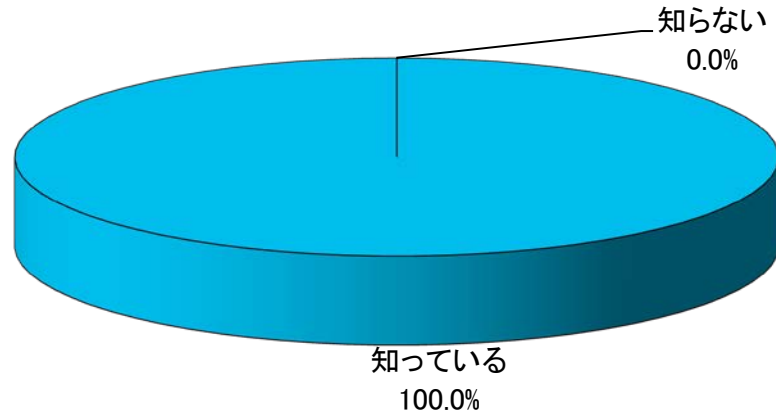


注) 自転車は車両なので、広い車道であっても、車と同じ方向(左側)しか走行することはできません。また、その際は左側の端を走行します。

問11 車の酒酔い運転は禁止されていますが、自転車の運転についても飲酒後の酒酔い運転は禁止されており、罰則があることをご存知ですか。(○は1つ)

N= 5

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 知っている	5	100.0%	男性	3		2	1	
			女性	2	1	1		
② 知らない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				

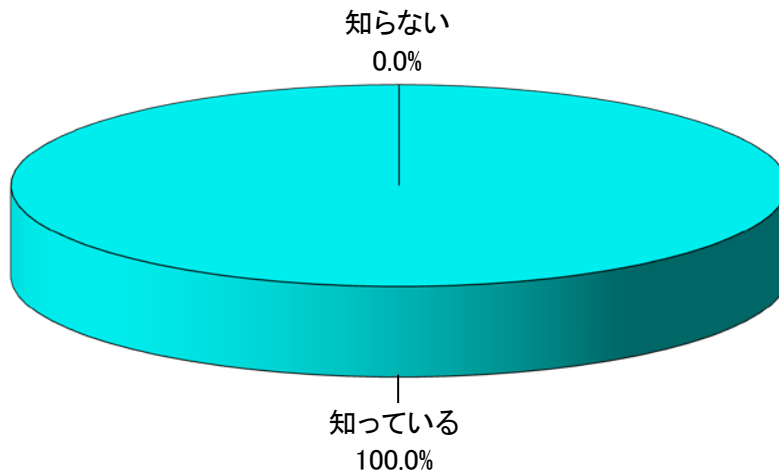


注) 自転車は車両なので「酒酔い運転は禁止」です。5年以下の懲役又は100万円以下の罰金が罰則として設けられています。

問12 平成21年7月から、都内では自転車走行中の傘差しや携帯電話の使用は違反行為に指定されましたが、ご存知ですか。(○は1つ)

N= 5

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 知っている	5	100.0%	男性	3		2	1	
			女性	2	1	1		
② 知らない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				



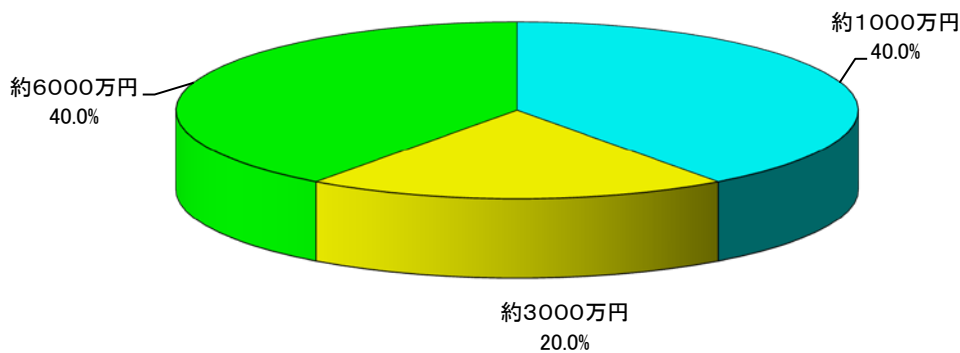
注) この他にも、走行中の「犬の散歩」や「ヘッドフォンの使用」などは危険なため、安全運転の義務違反になります。また、自転車に固定器具などで傘を取り付けて走行することは、自転車の積載制限違反となります。



問13 自転車の運転者はドライバーです。事故を起こし、相手にケガを負わせた場合、民事では損害賠償を求められ、場合によっては刑法で罰せられる場合もあります。自転車と歩行者による交通事故の損害賠償確定額として最も高額であったのは、次のうちいくらであると思われますか。ひとつだけ選んでください。

N = 5

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	約1000万円	2	40.0%	男性	0				
				女性	2	1	1		
②	約3000万円	1	20.0%	男性	1		1		
				女性	0				
③	約6000万円	2	40.0%	男性	2		1	1	
				女性	0				

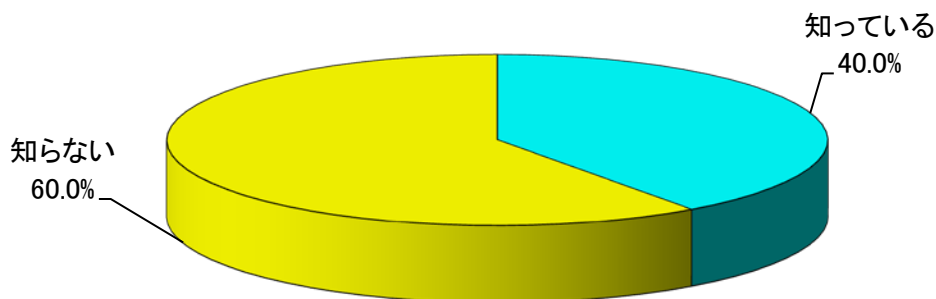


注) 平成21年度の時点で、約6000万円の損害賠償額が確定した例が存在します。

問14 自転車の整備・点検を受けて加入でき、誰がその自転車を運転しても保険の対象となり、賠償責任保険と傷害保険がセットになった「TSマーク保険」をご存知ですか。(○は1つ)

N = 5

		全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	知っている	2	40.0%	男性	2		1	1	
				女性	0				
②	知らない	3	60.0%	男性	1		1		
				女性	2	1	1		



注) 自転車の整備・点検を受けると同時に、賠償責任保険と傷害保険がセットになった1年満期で加入できる保険です。TSマーク保険をかけた自転車については、誰がその自転車を運転しても保険の対象となることができます。詳しくは、区交通対策課へお問い合わせ下さい。

**問15. 自転車運転に関わることについて、ご意見があれば自由にご記入ください。**

- 自転車ルール(左側走行、携帯禁止、傘差し禁止など)の周知がまだまだ足りないと思います。特に気になるのは主婦層の右側走行、学生の携帯(メール)使用など。主婦層への周知はなかなか難しいと思いますが、学生への周知は学校を通してできることはあるはずです。特にメールしながらの運転は危険極まりないので、対策と場合によっては厳重な取締を希望します。
- 夜のライトが重い。付属されているライトではこぎにくいので、別にライトを購入したほうが軽くてお年よりでも安全。ライトをつけない人も減ると思う。